テールリフトに関する一般情報

テールリフトはトラックのリヤオーバーハングにおいて曲げとねじれの力にさらされます。テールリフトはロアービームフランジに乗った状態で格納してはなりません。また EU と EFTA 市場で納車される場合、CE マークがなければなりません。

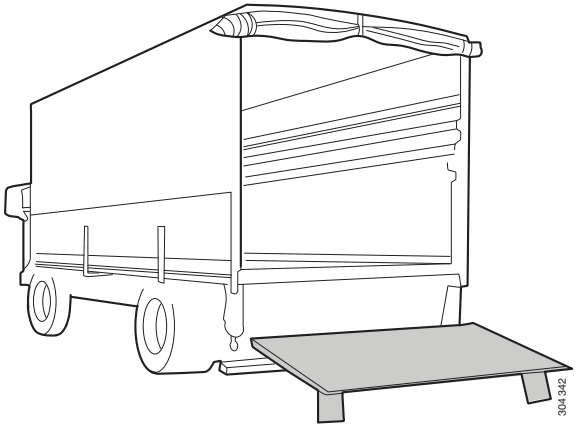
シャシフレームの補強

シャシフレームの補強の必要性は常にケースバイケースで判定しなければなりません。次の要因が重要になります：

- テールリフトのリフト能力
- 架装のデザイン、例えば、シャシフレームの曲げ抵抗。
- リヤオーバーハングの長さ

一般的には、リフト能力 2,000kg までのテールリフトの場合、架装とそのアタッチメントで提供される補強に追加補強する必要はありません。

リフト能力 2,000kg を超えるテールリフトの場合、シャシフレームのクロス補強が推奨されます。



テールリフトの取り付けおよび機能点検に関するメーカーの指示説明に従います。

補強に関する詳細情報は文書「フレームとサブフレーム」の「フレーム」にあります。

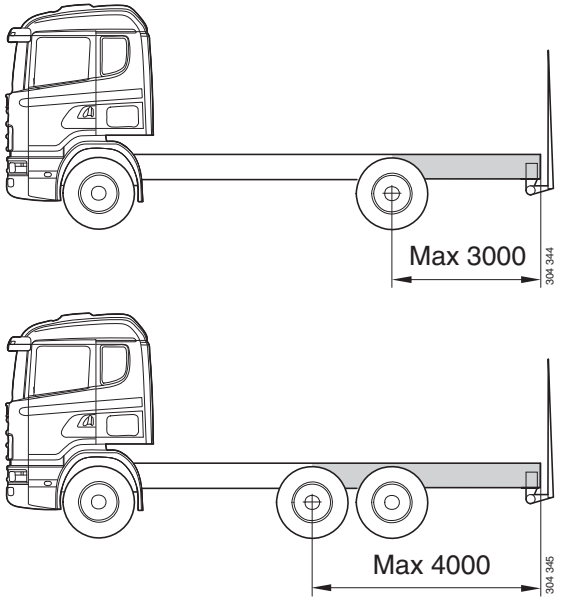
トルク計算についての追加情報は「計算および理論」の下の文書「強度」に記載されています。

© Scania CV AB 2013, Sweden

リヤオーバーハング

第 1 ドライビングアクスルとシャシフレームリヤエンド間の推奨距離（BEP-L020）：

- 4x2 ホイール構成のトラックについては最大 3000 mm
- 6x2、6x2*4 ホイール構成のトラックについては最大 4,000 mm



電気接続部

テールリフトの接続を行う前に以下をチェックしてください：

- 電流消費
- バッテリーとオルタネーターが充分な容量を持っているか。
- フレームヒューズ脇のエレクトリカルソケット
- スターターロックを越えて供給電圧を接続する可能性

テールリフトの接続を行ったのち以下をチェックしてください：

- 目的とする適用のための機能性
- アース
- キャブ内のインジケーターランプ付きスイッチ

リヤオーバーハングに関する詳細情報はテールリフトメーカーの取扱説明書に記載されています。

テールリフトの電気的接続に関する追加情報は電装システムの下に記載されています。

© Scania CV AB 2013, Sweden